



市政懇談会報告

6月21日から8月5日まで、市内21区を会場に市政懇談会を開催しました。市民のみなさんから多くの意見、提言、質問が寄せられましたので、その中で主な内容を紹介します。

■…市民意見 □…市回答

①諏訪6市町村合併について

■6市町村の足並みがそろっていないようだが、できることから合併してはどうか。

□市町村議員も活発に勉強を始め、今までと大分違ってきた感触がある。

■時限立法である合併特例法の支援策に乗り遅れると、大変な悔いを残すことになる。6市町村同時合併で、20万人都市の特例市指定を受け、政策を自主事業でできることが理想。叶わな

■いままで合併のネックになっていたのは何か。

□1番大きな要因は、情報・理解が不足していた。任意合併協議会で合併後の生活がどうなるのか、具体的な話し合いを行い、情報を逐次広報していく。

■メリット、デメリットは。財産区などはどうなるか。

□デメリット等は2月1日号、3

月1日号の市報で示してあるが、行政の二重投資や重複する施設の建設は避けるなど、社会資本の分散も大きなデメリット。

■合併はバラ色ばかりではないが、デメリットを最小限におさえしていく。合併のメリットは合併しなければあり得ない。財産区はそのまま残ると考えている。

■合併すれば議員の定数も減り、議員一人にかかる負担が大きくなるのではないか。

□現在は6市町村で120人いる議員が、合併すれば40人弱になる。同規模の松本市などでも、その人数で都市経営をしている。

■本庁の場所がどこになるかが問題。

□10月に任意合併協議会を設立し充分検討するが、現時点では本庁の場所は白紙。

■辰野町との合併をどう考えるか。

□現時点では、岡谷市から話を出す考えはない。

■合併後、岡谷が埋没することのないようお願いしたい。リーダーシップをとれるビジョンはあるのか。

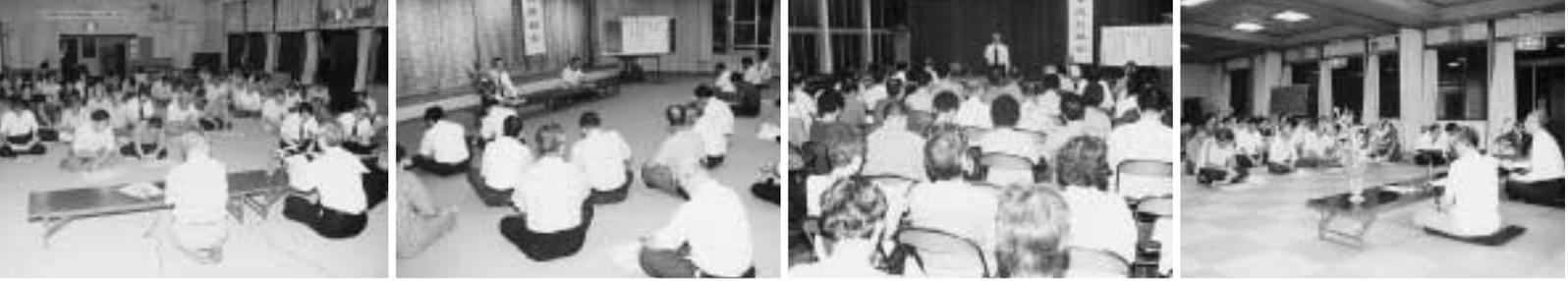
□テクノプラザおかやはスーパーデバイス超精密加工技術の核施設となっている。また、諏訪湖ハイツに温泉リハビリ施設など入れ、合併しても一味違うところを示す。新市に背負わせる大きな課題を練っている。

②岡谷市のまちづくりについて

【中央町再開発ビル】

■中央町市営駐車場は螺旋状で目が回る。信栄工業と八十二銀行の駐車場を使えるようにならないか。

□信栄工業も八十二銀行も株式会社で、それぞれの思惑があるが、両者に投げかけてみたい。立体駐車場は螺旋通路の幅があり過ぎ、スピードが出て目が回ると言う人もいるが、雨にぬれず、夏は日陰で車が熱くならないな



どのメリットも聞く。3時間無料なのでぜひ利用してほしい。

駐車場の構造を変えることは不可能なので、目の回る印象を与えないようマークを壁面に入れるなどの方法を、芝浦工業大学の建築の先生に検討いただいている。

【諏訪湖ハイツ】

■諏訪湖ハイツを大学の合宿所にしてはどうか。また、温泉利用の宿泊施設として市外からの誘客が期待できないか。

□合宿は夏場だけである。宿泊施設として経営が難しくなったため、市への売買を検討したものであり、難しい。市民本意の利用方法を生涯学習・福祉等施設懇話会でも提言されている。

■世代間交流や児童生徒の使用できる施設を併設してほしい。

■福祉施設にするなら、デザイナービスの専門家の意見を参考にしてほしい。

■体育館の間に自動車橋を作っほしい。

その他、中央町再開発ビル、諏訪湖ハイツに関する多くの意見は、基本構想基本設計の参考にさせていただきます。

【三ツオカヤ】

■特急利用時に使用できるよう、立体駐車場を市で借り上げられないか。

■岡谷市の玄関口を再生するために、市では買い上げと同程度の対策をしてほしい。

■最終手段としては、建物を取り壊し更地にした方が固定資産税や維持管理費がかからず良いと考える。

■ビルを民間に手放され、住民、近隣の人が不安要素を抱えるよう、市民の憩いの場になるようにしてほしい。

【その他まちづくり】

■二つの大型店の相次ぐ撤退は、商圈としていた上伊那方面から、道路が悪く来づらいことに起因する。川岸バイパスや下諏訪辰野線の拡幅に本腰を入れてほしい。

■商店街の活性化には、市民が率先して地元商店を利用し、買い物をするといった郷土愛が必要。

■駅前は、駅や商店が近く一番良い場所なので、高層住宅などを建てて利用してほしいか。

■社会福祉センターにロマンネットの太鼓道場を移せば、双方使いやすくなる。

■市民会館が取り壊された場合、跡地は岡谷病院の駐車場になるというが、蚕糸博物館はどうなるのか。

■蚕糸博物館はしばらく残し、公共施設配置計画の中で検討していく。

■下諏訪と岡谷の間に新駅を作って、それを核に人口が増えれば新しい発想が生まれる。

■茅野市に東京理科大学があり、本当に岡谷市に大学は必要か。

□大学は個性的で、芝浦工業大学、諏訪東京理科大学それぞれに得手・不得手な分野がある。芝浦工大は新学部を設置する考えで、岡谷市の工業集積に注目し積極的だが、景気や県の対応が厳しい。1学年200人で全部で800人程度になる計画で、可能性は

十分あるのでロングレンジの対応をしたい。

■東急ビルは一応見通しがつき市が買い取ったが、市が破綻する懸念はないか。

□数字的に岡谷市は健全財政の数値であり、中央町再開発ビルも経済産業省の補助を、諏訪湖ハイツも地域総合整備事業債を使うことで、一般財源の支出を軽





③その他市政全般

減している。

■おいしくて、安全な水として、岡谷の水は本当に大丈夫か。

□現在21本の井戸のうち5本の井戸は高度浄化装置で浄化しているが、既に8本の井戸が閉鎖されている。使用井戸の水位も年々低下し、厳しい状況である。

■LCV9チャンネルのアンケートをみると、8割の市民がダム建設に反対している。市長の考えと市民の考えが離れているのでは。

□市民は今まで断水の経験がない。20年も安全な水の確保を検討してきた結果が、東俣川ひがしまつがわからのダムによる日量1万トンの取水であり、安全な水を供給し続けることは政治課題であり、将来のまちづくりには必要。

■少子高齢化のために子供の教育にもっと投資していくべきだ。一貫教育でなく個性を伸ばすような独自性のある対応をすべきではないか。高齢化対応として、人生経験を生かし老人に生きがいを持たす対応を考えたらどう

か。

■イルフ童画館は全国的にもすばらしいが、市民は知らない。岡谷市は宣伝がへただと言われている。

■岡谷に「生糸の里」を作るなど、生糸をもっと観光に取り入れたらどうか。

■区の人口が減って消防団や体協が大会へ出られない。人口増対策は。

□消防団離れは深刻に受け止めている。3か年に100区画の宅地造成を目標にしている。

■唐松の間伐は切り捨てと搬出があるが、市は搬出を奨励しており、利用方法を検討してほしい。

□間伐の必要な山もあり、厳しい林業経営を支援したい。

■水源材としてブナの木や広葉樹を植えてほしい。

■火葬場を民間委託すること、街中でない場所に移転する考えは。

□最新設備に整備しており、匂い、煙はほとんど出ない。本年度基本的計画を立て、民間委託も検討する。

■保育園の統合問題は怎么样了るか。

□保育園の運営計画では、定員の

8割未満の園は統廃合する考えである。平成15年度にあやめ保育園の建設後、整備計画を作るが、老朽度・園児数等の推移をみて、投資効果の高い園から計画的に整備する。

■東海地震強化地域はどんな対応をするのか。

□市では、14年度中に地震防災強化計画を策定する。民間企業、商店等には地震防災応急計画を策定してもらい、行政、民間、各区の防災組織と連携をとり対応する。

■介護者を支援してほしいし、激励金も今までのように支給されたい。介護保険施設を十分に整えてほしい。

□在宅介護をされている方のケアとしてホテル岡谷で毎月「介護者サロンほっと」を行っているので利用してほしい。

■諏訪地方はモノ作りの技術があっても、集団・共同化しないと仕事の確保がで

きないので、行政の援助・指導をお願いしたい。

■テクノプラザは中小企業の相談にいけるような施設にしてもらいたい。

□テクノプラザおかやを作るにあたり、プロジェクトチームを作り、ハード・ソフト面で機能し使える施設を検討した。県下に先駆けて東京に受発注の拠点を設け、情報提供してもらっている。工業アドバイザーも優秀な人材がいるので、ぜひ相談してほしい。

■諏訪湖畔を利用し、お金をかけず、人を引きつける魅力的なものを考えてほしい。岡谷を愛せ





るまちにしてほしい。

□岡谷は食の文化でうなぎを、絹の文化として岡谷絹工房を、福祉の風土づくりとして世代間交流で心温まる感動的な交流を行っている。

■昭和35年頃、有機溶剤やメッキ廃液などを土中へ捨てていた。当時を知る人が生きているうちに情報を集めて、埋めた所に中和剤を流すなど土壌汚染の対策を行い、次の代に譲り渡すことが大事である。

■男女共同参画市民会議に男性の参加が少ない。

■県道下諏訪辰野線の拡幅状況はどうか。

□県道下諏訪辰野線の拡幅は県で行っているが、県下一の渋滞道路を見捨てないよう一刻も早く完成するよう努力する。

■熊や猿の鳥獣害も自然破壊であり、高齢者が健康維持のため安心して自然の山に入れるようお願いしたい。

■ゴミ環境で重要なのは、出たゴミの処理に力を入れるのではなく、商店で出るゴミなど元を断つ指導が必要である。

■市道の幅員が4m以下の道路は家屋を建築する場合、道路中心

から2m以内に構造物を作ってはならないとなっているが、守られていないのではないか。

□建築確認のときに、道路中心から2m以内の私有地は市道として買い取れないかなどの説明もしている。

■人口増の施策は何か。

□小中学生の公共施設使用無料化、保育園の休日・延長保育の充実、集合住宅・個人住宅に対し優遇処置などを実施している。

■昔はどこでも養蚕をしていたが、今はどこにも桑畑がないので村づくりとして考えてほしい。

■天竜川に、水に親しみ環境浄化にもつながる水辺を作ってほしい。

■シルキーバスで中心市街地に向かうだけでなく、周辺部へ行くというようなものも考えてほしい。

多くのご意見は市政への貴重なご意見として、参考にさせていただきます。時間の関係で市政懇談会で話せなかったことは、アイデアメール、手紙、Eメールなどでお寄せください。

中央町再開発ビルに愛称をつけてください

中央町再開発ビルは、1・2階は商業施設として既に営業を始めていますが、3・4階は公共施設として生涯学習施設や子育て支援施設を整備し、「賑わいの創出が図れ、魅力ある施設」として、平成15年3月に全館オープンする予定です。そこで、この建物を親しみやすいものにするため、市民のみなさんに愛称をつけていただきたいと思います。応募要領は次のとおりですが、市民の出会いの場、ふれあいの場として生まれ変わる施設にふさわしい愛称をお待ちしております。

なお、市ではイルフ童画館や駐車場棟を含めた中央町再開発地区全体の名称を「イルフスクエア」として位置づけていますので、このイメージに合った愛称を考えてください。

- 募集期間 8月20日～9月30日
- 応募方法 はがき、FAX、Eメールに住所、氏名、年齢、電話番号と愛称を一つ記入して、市役所企画課まで応募してください。
- 応募先 〒394-8510 岡谷市幸町8-1 岡谷市役所企画課
FAX 24-0689
Eメール kk@city.okaya.nagano.jp

なお、愛称が採用された方には、記念品を贈呈します。
※お問い合わせは、市企画課（☎23-4811 内線1523）まで。

